



滝沢村議会の議場

一人人口の多い村で、平成26年1月の市制発足をめざしている。議員定数は20人で、平成15年から会派制を採用している。同年、政務調査費の交付を決定し、議員活動の活性化をはかっている。また、議会情報の積極的な発信をし、住民に開かれた議会として評価され、平成21年度には全国町村議会議長会特別表彰を受賞している。

住民に議会活動を理解しても

「最高水準に学ぶ」
 ～秋田県大仙市～
 全国学力・学習状況調査で、全国でも最高水準と評価される大仙市の教育方針や、学校の活性化などを視察した。
 全国学力・学習状況調査で3年連続トップクラスの秋田県。その中でも、大仙市の学力は、県の

らう方法、議会の活性化、議員の資質の向上など、議会がかかえる課題は同じであり、滝沢村議会の改革に向けた取り組みは参考になった。
 議会報告会についても、参加人数の減少、固定化など大山町と同じ悩みをかかえていた。
 より多くの地域住民と対話するための成人議会の開催・子ども議会・女性議会・シルバー議会などの取り組みも参考になった。

平成24年度

大仙市の学校教育

◆大仙市の目指す将来都市像◆

人が生き人が集う
夢のある田園交流都市

市の花 「コスモス」
市の本 「はやき」
市の鳥 「カワセミ」

◆大仙市の教育目標◆

生きてはたらく知恵を育み、
創造力にあふれる人づくり

共 (ともに)
に支えあう力の育成

創 (つくる)
造的に生き抜く力の育成

考 (かんがえる)
え、生かす力の育成

開 (ひらく)
き、信頼される学校

大仙市教育委員会

大仙市の学校教育方針

平均を上回っている。この結果は、大仙市が取り組んできた「当たり前のことを当たり前にやる」環境づくりの成果である。児童・生徒の活躍はもちろんのこと、教職員・保護者・地域住民の連携の強さを感じた。
 大仙市の取り組みを、大山町の明日を担う子どもたちの育成と学力向上につなげていきたい。



大仙市での研修